

大阪労働局発表
令和 2年 12月 10日

【照会先】
大阪労働局 職業安定部 職業安定課
(代表電話) 06-4790-6300

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組

<令和元年度総合評価の結果等の発表>

～ハローワークの“業務の見える化”で

サービス向上を目指します～

大阪労働局（局長：木暮 康二）では、誰もが活躍できる良質な雇用機会を確保するため、平成27年度から全国のハローワークをポイント化して比較する「ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組」を実施し、“業務の見える化”を図っております。

つきましては、令和元年度の大阪府内のハローワークごとのマッチング機能に関する業務の成果、総合評価の結果、ハローワークが実施した各種の取組の結果及び業務改善の実施状況等を発表いたします。

大阪労働局・ハローワークでは、引き続き現下の情勢に対応した対策・取組を実施してまいります。

1 「ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組」概要

全国のハローワークを11のグループに分け、業務の目標に対する達成状況等によりポイント化を行い、グループ内での相対評価を実施し、その評価結果等を踏まえて、継続的な業務改善を行う取組です。これは、ハローワークが、マッチング業務の成果や評価結果、業務改善の状況等を利用者に分かりやすく公表することにより、透明性を高め、ハローワークに対する信頼性の向上を図ることを目的とするものです。

詳細は、別紙をご覧ください。

2 大阪府内16ハローワークの総合評価の結果等

詳細は、別添の就職支援業務報告をご覧ください。

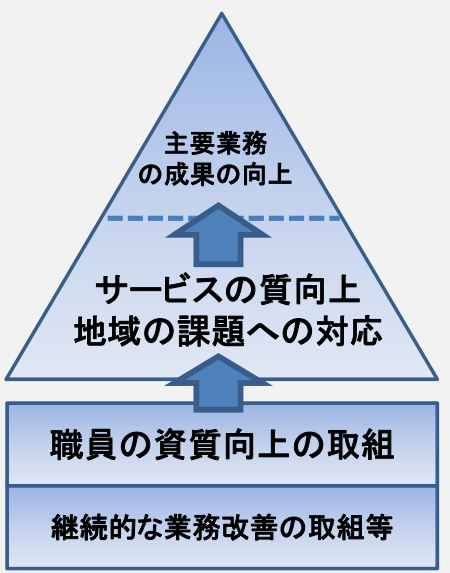
ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 (ハローワーク総合評価)の概要

別紙

ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善(ハローワーク総合評価)の取組を、平成27年度から実施。


PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 従来取組(就職件数等の**主要指標**に基づくPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、
 - 業務の質に関する**補助指標**
 - ハローワークごとに、地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する**所重点指標**
 - ハローワークごとに、中長期的なマッチング機能強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する評価項目である**所重点項目**を**新たに設定**し、目標管理を実施。



短期的な成果の向上だけでなく
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り
マッチング機能を強化

ハローワークのマッチング機能の 総合評価・利用者への公表

- 業務の成果について毎月公表
→各労働局が所管ハローワークの主要指標の実績を毎月公表
- 年度終了後、業務の成果(主要指標・所重点指標)や質(補助指標)、職員の資質向上・業務改善の取組(所重点項目)の実施状況を踏まえ、ハローワークごとに総合評価を実施。
→労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11のグループに分け、同一グループ内で相対評価
- ハローワークごとに総合評価結果及び業務改善の取組等をまとめ、各労働局が公表。


重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- 総合評価結果を、労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果に基づく 全国的な業務改善

- ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、評価結果をもとに、本省・労働局による個別のハローワークへの重点指導や好事例の全国展開を実施
 - 評価結果に基づき、本省から、労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - 一定の基準に該当するハローワークは改善計画を作成、本省・労働局が重点指導
 - 好事例は全国展開
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

ハローワーク総合評価の評価指標の構成

1 全ハローワーク共通の評価指標(主要指標・補助指標)

(1)主要指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち、特に中核業務の成果を測定する評価指標

- 就職件数
- 充足数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

(2)補助指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する評価指標

- 求人に対する紹介率
- 求職者に対する紹介率

2 地域の雇用課題等に応じてハローワークごとに選択する評価指標(所重点指標)

所重点指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点的に取り組む業務に関する評価指標

- 生活保護受給者等の就職件数
- 障害者の就職件数
- 学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数
- ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーター等の件数
- 公的職業訓練修了3か月後の就職件数
- マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率
- 正社員求人数
- 正社員就職件数
- 人材不足分野の就職件数
- 生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
- その他、安定所と労働局が調整し設定するマッチング業務指標

3 職員の資質向上のための取組や継続的な業務改善の取組に関する評価指標(所重点項目)

所重点項目

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組に関する評価指標

- 職員による事業所訪問の実施
- 職員による計画的なキャリアコンサルティング研修の受講
- 求職者担当制の実施
- 求人に対する担当者制の実施
- データベースに登録された取組(好事例)の水平展開
- 他所と連携した円滑な広域労働移動のための取組
- 地方公共団体との連携の推進
- 各種業務研修の実施

ハローワーク総合評価の評価方法

ハローワーク総合評価は、年度単位で実施し、

- ①労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11グループに分け、
- ②年度終了後に、ハローワークごとに評価指標の実績を点数化し、同一のグループ内で相対評価を行う。

① 評価指標(主要指標・補助指標・所重点指標)ごとに、年度当初に定めた目標への達成状況を基に、点数を付与する。

A指標の目標達成率



A指標のポイント化係数



〇〇ハローワークの
A指標のポイント

(例) A指標のポイント化係数が100点、目標達成率が105%とすると、 $100点 \times 105\% = 105点$ がA指標の点数となる。

② 評価指標(主要指標・補助指標・所重点指標)の目標達成率が100%以上の場合等に、点数を加点する。

(例) 上記①のA指標の目標達成率は105%なので、105点に加え、10点を加点。

③ 評価指標(所重点項目)の実施状況を基に、点数を付与する。

※中長期的な観点から必要となる職員の資質向上のための取組や継続的な業務改善の取組を実施した場合に、取組ごとに点数を付与。

④ ①～③の点数を合計し、ハローワークごとに、総点数を計算する。

○ 11グループのうちの同一グループ内で、ハローワークごとに、総点数を比較の上、4段階（「非常に良好な成果」、「良好な成果」、「標準的な成果」、「成果向上のため計画的な取組が必要」）の相対評価を行う。

令和元年度における総合評価の結果

総ポイント数をもとに、グループごとに各ハローワークを4段階で評価。
令和元年度の大阪労働局管内各ハローワークの評価は下表のとおり。

評価基準

- 各グループごとに平均値を基準とし、平均値以上を類型1・2、平均値未満を類型3・4に区分
- 目標達成率100%を満点とみなし、満点以上を類型1に区分
(満点については、目標達成率が100%以上の場合は満点を超える場合があり得る。)
- グループ平均値の80%未満(※)を類型4に区分
※規模が大きい1Gは平均値の90%未満、2～5Gは平均値の85%未満と、基準を高く設定。

大阪労働局管内各ハローワークの評価

○総合評価(4段階)の評価類型

類型	総合評価結果の評語
類型1	非常に良好な成果
類型2	良好な成果
類型3	標準的な成果
類型4	成果向上のため計画的な取組が必要

グループ1	総合評価結果の評語
大阪東	良好な成果
梅田	標準的な成果
大阪西	良好な成果
阿倍野	良好な成果

グループ2	総合評価結果の評語
淀川	良好な成果
布施	良好な成果
堺	良好な成果
池田	良好な成果
茨木	標準的な成果
門真	良好な成果

グループ3	総合評価結果の評語
枚方	標準的な成果

グループ4	総合評価結果の評語
岸和田	良好な成果
泉大津	良好な成果
藤井寺	良好な成果

グループ5	総合評価結果の評語
泉佐野	良好な成果
河内長野	標準的な成果

ハローワーク大阪東 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、求人充足サービスを強化するため、求人者と求職者のマッチング機会を増やす就職面接会の開催に積極的に取り組みました。令和元年度は面接会を113回開催し、158件の就職実績（平成30年度は81回開催、就職件数110件）となり、就職件数では対前年度比43.6%増と前年度実績を大きく上回りました。特に所内面接会は、事業所支援を担当する事業所サービス部門と求職者支援を担当する職業担当部門の職員が2人1組となり、求人充足サービスを進める求人担当者制の面接会や人材確保対策コーナー、マザーズコーナーのセミナーや見学会とリンクした面接会、さらに障害者対象の定期的なミニ面接会や会社説明会など積極的かつ能動的な面接会を多数実施したことに加え、所外の面接会では他所との合同面接会や地方自治体とコラボした面接会を実施し、新たな求職者の利用促進を図ることができました。

また、職業訓練受講者への就職支援の強化に取り組みました。職業訓練実施校において出張相談・ガイダンスを27回行い、受講者の個別支援へ繋げ、加えて企業説明会を4回、夕陽丘職業技術専門学校と連携した合同就職面接会を2回実施し、マッチングを図りました。その結果、「公的職業訓練修了3か月後の就職件数」の目標を大きく達成することができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

所内アンケートから「リーフレットが探しにくい」「ハローワーク大阪東で開催されるイベントの情報が分かりづらい」などの意見が多かったため、当所のリーフレット作成のルールの見直しとリーフレットラックの表示内容の見直しなどの改善を行いました。利用者目線に立ち、欲しい情報がすぐに手に入る展示方法としました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

地域に密着したハローワーク、労働力需給調整機関の中核としての存在感を示すため、管内自治体（区長）や経済団体（特に中小企業団体）との連携を図り、互いのニーズに沿った事業を共同で展開することによりハローワークの存在価値を向上させていきます。具体的には、事業所サービスを強化し、「働き方改革関連法」をベースにした「働きやすい職場の実現」を働きかけ、求人充足対策、労働者定着対策へつなげていきます。

また、ハローワークサービスの“見える化”を推進するため、ケーブルテレビなどの地域コミュニティや在阪マスメディアを活用し、ハローワークが実施するサービスをわかりやすく伝えていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

障害者の就職支援については、障害者就業・生活支援センター、支援学校、障害者職業センター、就労支援機関等とチーム支援を行うとともに、定着に向けたフォローや所内でのミニ面接会や説明会の開催などに力を入れることで、障害者のチーム支援による就職率は74.8%と目標を上回る就職率が達成できました。また、60歳以降の就労を希望する高齢者層が多数存在する中、生涯現役支援窓口「シニアコーナー」では、積極的な求人情報の提供、高齢者向け求人情報誌の作成、シニアセミナーの充実やシニア面接会・説明会などのイベントの開催など、シニア世代が活躍できる支援の充実に力を入れています。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

当所ではマザーズコーナーにおけるきめ細やかな就職支援が好評でマザーズ重点支援対象者の就職が高い状況となっています。また、マザーズコーナーを活かした就職支援の取り組みを着実に実行するため、OSAKAしごとフィールド（大阪府）やハローワーク阿倍野と連携した「マザーズコーナー就職面接会」、マザーズセミナー「就活メイクアップ講座（託児付き）」、「子育て世代のマネー講座（託児付き）」「マザーズサロン 保活編～ワーキングマザーへの第一歩」等を実施し、求職者の利用促進を図りました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する紹介 率	求職者に対する紹介 率	生活保護 受給者等 の就職件 数	学卒ジョブ サポーター の支援によ る正社員就 職件数	公的職業 訓練修了3 か月後の 就職件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による 就職支援を受け た重点支援対象 者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数	人材不足 分野の就 職件数	生涯現役 支援窓口で の65歳以 上の就職 件数	障害者の チーム支援 による就職 率
実績	4,982	15,020	3,306	43.4%	42.0%	319	655	433	100%	66,535	2,236	1,099	233	74.8%
目標	5,669	16,548	2,746	44.8%	43.4%	305	645	358	92.7%	80,031	2,633	1,105	217	43.1%
目標達成率	87%	90%	120%	96%	96%	104%	101%	120%	107.9%	83%	84%	99%	107%	173%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク梅田 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

【対象者の特性を踏まえた各種面接会等の実施】

これまでよりさらに多様化した求職者のニーズに対応するために、人材確保対策コーナー、35歳からのキャリアアップコーナー（就職氷河期世代支援窓口）を開設し、求職者の特性を踏まえた対応、就職支援を行うために研修等でノウハウを蓄積し、その上で面接会を実施しました。

① 人材確保対策コーナーでの面接会の開催

人材確保対策コーナーを平成31年4月に開設し、オープニングイベントを皮切りに各種セミナーや面接会を開催し、人材不足分野への就職促進を図りました。

② 就職氷河期世代の就職支援

35歳からのキャリアアップコーナー（就職氷河期世代支援窓口）を令和元年7月に開設し、就職氷河期世代の就職支援を推進するために担当者間でミーティングを重ね、就職支援ツールに関する研修を行い、ノウハウの共有・蓄積を行いました。

③ シニア世代の就職支援

- ・シニア就職面接会の実施：ハローワークプラザ難波と共催で、まず7月にハローワーク梅田で開催し、9月にはプラザ難波で開催しました。11月の面接会はハローワーク淀川・ハローワーク西宮と合同で開催し、それぞれの事業所、求職者のマッチングに努めました。
- ・「シニアのための履歴書・職務経歴書セミナー」、「シニアのための面接対策セミナー」を新たに実施しました。特に「シニアのための面接対策セミナー」については、セミナー後の個別面談を実施し、その後の継続支援と支援結果の確認も行いました。

④ 管内地域住民のニーズに応じたイベントの開催

大阪市市民局や管内各区役所、天満労働基準監督署、西野田労働基準監督署と連携したセミナーや面接会を開催しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

【新規求職者、紹介就職件数の向上】

大阪新卒応援ハローワークでは、利用者満足度と就職件数アップの観点から、窓口相談業務を通じて感じた求職者（学生）に不足している知識、必要としている知識を付与するために、少人数制による「就活ミニ講座」を複数回実施しました。また、新規求職者の拡大を図るため、大学等が主催するイベントへの積極的な参加に加え、卒業年次以外の学生に対するキャリアガイダンスや出張セミナーなどを行い、大阪新卒応援ハローワークの存在、支援内容についての周知に努めました。合同企業説明会&面談会において録画した企業のPR動画をインターネット上で配信し、就職促進を図りました。

【職員の資質の向上】

事業所に対し均等なサービスを行うため法改正等の周知、研修、意見交換会を実施しました。また、年金事務所の方を講師に招いて、職員向けに年金の研修を行いました。一般的な制度の周知ではなく、全部門の職員・相談員から事前に知りたいことを聴取し、各部門から1名ずつ研修を受講させました。具体的には、ハローワーク窓口で、年金に関して来所者から質問のあった内容や併給調整等の内容です。例えば、年金事務所からハローワークで書類をもらってくるように言われた方が何の書類が必要なのか分からないまま来所されると、スムーズな案内が難しくなるので、こういった書類が必要になるのかなどです。受講後、その者から各部門に研修内容を伝達するよう工夫することで、年金に関する問い合わせに対して適確な対応ができるようになりました。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

【人材確保対策コーナーの強化】

今後コーナーの専門性を高めて人材不足分野の就職促進を図っていきます。まずは人材確保対策分野の仕事を希望されている方をコーナーに誘導する流れを作り、就職支援担当者がチームで、コーナー利用者の就職が実現できるよう支援していきます。また、昨年度後半から実施している職業理解を深めるセミナーについても内容を充実し、セミナー受講者の求人応募につながる内容にしていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

【部門間連携の強化】

管内求人は本社企業が多く、就業場所が全国にわたる募集のため求人者と求職者のマッチングを大阪府内で完結させることが困難ですが、求人担当者制の充足割合は40.7%と高い割合を達成し、。面接会は207回開催しました。

面接会開催については事業者から今後の継続を要望されています。積極的に求人担当者制を推進し、職業相談部門の職員と事業所訪問を実施し、求人票に記載されていない情報収集や良質求人確保に努め、毎日開催している朝一会議において職業相談部門とより一層の連携に努めます。また、面接会への誘導や良質求人の掲示、PRシート作成で求職者が応募しやすい環境づくりに努めます。

【紹介就職件数の向上】

職業相談部門のナビゲーターによる個別支援の支援開始件数2,795件に対し、就職件数2,024件、就職率72.4%。雇用保険受給者の個別支援の支援開始件数1,500件、就職件数1,074件、就職率71.6%。職業訓練受講者の個別支援の支援開始件数100件、就職件数90件、就職率90%でした。求人情報提供件数27,512件、提供求人紹介件数4,574件、提供求人紹介率16.6%、提供求人採用件数479件でした。個別支援対象者の就職率は高い結果が出ましたが、職業相談部門におけるハローワーク紹介就職件数(全数)は1,132件で、紹介就職につなげる取組が課題となりました。充足率を上げるためにも、今後、ハローワーク求人を中心とした職業相談を行っていく必要があると思われます。

また、職業訓練修了後3か月以内の就職件数は目標を達成できていますが、職業訓練相談員の年間紹介件数261件、就職件数20件と少ないため、訓練窓口での求人情報提供から紹介につなげる取組を強化すれば、さらに紹介就職件数を伸ばすことができると思われます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

令和2年2月頃より、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、雇用保険説明会、初回講習、面接会、各種セミナーなどハローワークが主体となる様々なイベントが中止となったため、令和2年3月の新規求職者は対前年度減となりました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職 件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員 就職件数	ハローワーク の職業紹介 により、正社 員に結びつい たフリーター 等の件数	公的職業 訓練修了3 か月後の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	人材不足 分野の 就職件数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上 就職件数	雇用保険受 給者の紹介 就職件数
実績	10,615	12,653	3,681	37.7%	46.7%	674	8,353	2,995	552	71,995	5,953	1,624	305	2,829
目標	12,438	14,448	3,239	42.8%	49.7%	715	9,633	3,446	517	76,787	7,106	1,662	240	3,350
目標達成率	85%	87%	113%	88%	93%	94%	86%	86%	106%	93%	83%	97%	127%	84%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大阪西 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では新規求職者の掘り起しのための積極的な周知広報や取組として、職業理解セミナー「データサイエンティスト」や就職氷河期世代の方を対象としたセミナーを実施し、職業訓練への新たな誘導を図るとともに、「親子d e手作りワークショップ」やホテル人事担当者による「第一印象アップセミナー」、体験型面接会などのイベントを実施しました。また、有効求職者に対する確実な支援のために、難波施設（大阪マザーズハローワークとハローワークプラザ難波）にて求人票の送付などを行う「在職者専用就職支援サービス」といった、失業を経ない形で再就職を実現できるような在職者向け支援を実施するとともに、失業中の求職者には、電話による再来所勧奨を実施しました。

雇用保険受給者の就職支援においては、雇用保険受給手続き後の初回講習について、早期再就職希望者には個別面談式での初回講習を案内しました。セミナー形式の初回講習時には、職種別の求人情報誌を配布するなど、早期再就職を意識させるための取組も行いました。

また、ハローワーク大阪西本所と難波施設が連携し、ハローワーク大阪西本所で行っている初回講習を、求職者の利便性に考慮し、希望者の一部は難波施設において実施しました。さらに、給付制限のある求職者に対してハローワーク大阪西本所だけでなく、難波施設と連携して来所勧奨を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人・紹介部門の連携強化として、難波施設の求人・紹介部門の担当者による会議において、求人内容等の情報交換を行い、より求職者に魅力のある求人内容とするため、必要に応じ求人者に内容改善の提案等を行っています。また、難波施設の求人部門からハローワーク大阪西本所にある紹介部門に対して、上記の会議にて提供された求人情報を活用した提案型の求人情報の提供及び職業紹介を実施し、情報共有を図っています。

具体的な取組として、「webデザインの職種は、未経験で応募ができる正社員求人が少ない」という職業訓練担当の声から求人部門が求人を開拓し、求職者支援訓練の指定来所日において、正社員求人の限定のwebデザイナー面接会を開催しました。また、高齢者の就職支援を強化し、シニア面接会、シニアガイダンスを積極的に開催しました。

関係機関との連携強化としては、機会あるごとに担当職員が各区役所に訪問し、生活保護受給者等の支援などにおいて自治体の担当者と良好な関係を構築しました。さらに今まで連携してきた関係機関に加え、新たな関係機関と連携したセミナー（大阪市健康局・福祉局とのコラボ企画）を積極的に企画・開催し、これまで利用がなかった層に対して積極的な広報を実施しました。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

令和2年1月からのハローワークシステム刷新によるオンラインサービスの活用として、従来の「在職者専用就職支援サービス」の取組に追加して、システム刷新に伴い利便性が向上した機能（求職者マイページからメールで求人票を送付するなど）を活用した「総合的情報提供サービス」を実施して、サービス向上を図ります。

人材確保分野の就職支援強化としては、医療、福祉、建設、警備、運輸の人材不足分野の面接会やセミナー等を開催することで、マッチングを図り就職支援を強化します。

(4) その他業務運営についての分析等

当所独自の部門関連携に関する取組「働き方改革の実践！ワークシェア宣言」により、繁忙期等の各課部門への応援を積極的に実施し、システム刷新時に特定の部門に集中した業務の負担軽減を図ることができました。この部門間連携により求人部門から紹介部門への良質求人提供など、今まで以上の連携にもつながっています。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

新規求職者の開拓や利用促進を図るため、自治体と連携したイベントとして、面接会においては大正区と「事業所の魅力発見！就職面接会」、西区・浪速区・大正区・港区と「ディーセントワーク障害者面接会」、大阪市と「ハローステップ就職応援プラザ in 中央図書館+ハローワーク大阪西 就職面接会」を行いました。難波施設では大阪市と連携してセミナーを開催しました。その中でも大阪市健康局・福祉局と連携して開催した、「いきいき働くための健康デイ」においては令和元年度M1優勝者の吉本芸人のミルクボーイにも参加いただきました。その他に難波施設ではテーマを決めた1週間連続のイベントとして、5月「マザーズWeek」、8月「ハロトレWeek」、9月「シニアWeek」、10月「女性活躍応援Week」を開催し、利用者拡大につなげました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する紹介 率	求職者に対する紹介率	生活保護 受給者等 の就職 件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブ サポーター の支援によ る正社員就 職件数	ハローワー クの職業紹 介により、 正社員に結 びついたフ リーター等 の件数	公的職業 訓練修了 3か月後 の就職 件数	マザーズハロ ーワーク事業 における担当 者制による就 職支援を受け た重点支援 対象者の 就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数	生涯現役 支援窓口で の65歳以 上の就職 件数
実績	6,228	10,413	1,969	48.7%	45.2%	442	435	336	1307	276	94.1%	42,064	3,084	102
目標	7,629	11,436	1,648	51.2%	49.7%	425	408	336	1396	239	92.7%	45,896	3,862	81
目標達成率	81%	91%	119%	95%	90%	104%	106%	100%	93%	115%	101%	91%	79%	125%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク阿倍野 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

○マザーズコーナーの周知広報

利用者の交通利便性を考慮し、大阪マザーズハローワーク及びハローワーク大阪東・ハローワーク布施・当所マザーズコーナーも含めた4所合同リーフレットを作成しました。各所の独自リーフレットの裏面に4施設を併記することで、他所管内での周知を図りました。また、管内6区の広報誌（令和元年9月号）にマザーズコーナーの紹介記事を掲載していただき、10月から受付を開始する保育所の利用申込者を対象とした周知を図りました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

○人材不足分野（看護・介護・保育・建設・運輸・警備）のミニ面接会・体験型・ツアー型面接会を実施し、面接の機会の確保や実際の仕事を体験する場を設けました。

○生涯現役支援窓口では、「70歳以上採用実績あり求人」の抽出を行い窓口で共有することにより就職促進を図りました。

○令和2年1月からのハローワークシステム刷新に伴い来所者端末の操作方法が変更となり、ルシアス庁舎においてはパソコン操作に不慣れな方、マウス・キーボード操作に戸惑う方が多かったため、来所者端末の台数削減により確保できたスペースを活用し、求人展示ボード、求人ファイルおよび求人情報誌等の紙媒体での情報提供の拡充を図りました。

○上記（1）「マザーズコーナーの周知広報」を契機に、ハローワーク大阪東との連携を強化し、年間9回開催したミニ面接会のうち、4回はハローワーク大阪東管内事業所を対象として、共催しました。（実績：ミニ面接会9回開催、延べ10社参加、採用19名）

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

○あべの・わかものハローワークでは、現在若者向けの発信ツールとしてHPやLINEを利用しています。スマートフォンを情報収集のツールとして利用している若者が多いことから、スマートフォンで見やすいHPやLINEでの情報発信の方法を工夫する必要があり、昨年度より始めたタイムラインの効果的な活用を図っています。

○就活クラブでは主にコミュニケーションに不安のある若者を対象としたグループワークを行っています。今後は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため就職活動が思ったように実施できていない若者も対象者とし、インターネットの活用、WEB面接対策などのメニューを盛り込むなど、少人数制で行うグループワークを主体としたセミナーの拡充を図っていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

○新型コロナウイルス感染症の拡大により、昨年までとは全く異なる状況になっていることから、状況を見極めながら臨機応変な業務運営を実施する必要があります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

○人材不足分野における就職支援としては事業所を訪問するツアー型の面接会を年間15回実施しました。参加者75名・就職者22名で就職率は29.3%となり、就職意欲が高い方の面接の機会を確保することにより、就職率が高くなりました。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	公的職業訓練修了3か月後の就職件数	正社員求人数	正社員就職件数	人材不足分野の就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数	一体的実施事業(一般型)の就職件数
実績	8,891	7,269	3,767	38.6%	44.0%	832	875	1,029	563	34,454	4,336	2,339	231	1,640
目標	10,083	8,212	3,188	42.2%	47.1%	864	970	871	478	37,075	4,800	2,446	209	1,510
目標達成率	88%	88%	118%	91%	93%	96%	90%	118%	117%	92%	90%	95%	110%	108%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク淀川 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

①各指標に対する取組

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、所内での就職説明会・面接会「よどがわ☆はたらくDay」や、継続的な求人票の提案をベースとした職業紹介などの取組みを行いました。

特に、「よどがわ☆はたらくDay」は49回開催し、参加者1,114名、紹介件数316件、就職43件で、事業所・求職者ともに満足度が高い結果となりました。具体的には、窓口対応や事業所訪問時に情報を収集し、求職者に興味を持ってもらえるような求人票となるよう工夫し、事業所の魅力をいかに伝えるかに重点をおいた事業所PRシートを作成、活用しました。

②中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では中長期的な職員の育成を図る観点から、業務未経験の課・部門において業務知識を習得する「若手職員交流研修」を実施しました。また、令和2年1月6日からのハローワークシステム刷新に向け、9月に「システム刷新に係る伝達研修」を12回に分けて実施、12月に「来所者端末についてのビデオ研修」を5回に分けて実施し、資質向上に努めました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者の約半数が雇用保険受給者となっており、雇用保険受給者の就職促進への取組を強化する観点から、令和元年度から若年者（39歳以下）向けに職業理解セミナーを新設しました。6～2月で9回実施、参加者202名、うち雇用保険受給者175名という結果で、就職意欲の喚起につながったと思われます。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ハローワークインターネットサービスでの仮登録や求職者マイページの周知に力をいれ、庁舎内混雑の解消、所内での滞在時間の短縮、職員からの情報提供のツールの増加に取り組んでいきます。

（4）その他業務運営についての分析等

所内報（PDCA通信）を月1回配布し、目標数値を意識して業務に取り組むよう、全職員・相談員の意欲喚起を行いました。今後も目標値への達成率を意識して、業務に取り組み、改善していくとの共通認識を継続していきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

所内でのわかりやすい掲示や周知に努めているところです。就職説明会・面接会やセミナー等のイベントの周知広報の一環として、各カウンターに三角柱を作成し、配置しています。ポスター貼り出しをしても意識していない求職者に、窓口相談時に気軽に情報提供するきっかけとなりました。また、令和2年1月下旬から給付課前の待合で、イベントなどの情報をモニターにてスライドショー形式で流す広報を開始しています。モニター画面の横にチラシを置き、すぐ手に取ってもらえるようにしました。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサ ポーターの支 援による正社 員就職件数	公的職業訓 練修了3か 月後の就職 件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数
実績	4,567	7,133	3,442	37.4%	37.6%	305	557	557	525	41,095	2,235	175
目標	5,069	8,006	2,897	40.4%	39.2%	320	547	545	315	41,777	2,467	155
目標達成率	90%	89%	118%	92%	95%	95%	101%	102%	166%	98%	90%	112%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク布施 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、求人への充足に向けた取組として、事業所を担当する事業所サービス部門と求職者を担当する職業相談部門が一体となり、事業所訪問を行いました。訪問する事業所は、求人担当者制対象求人を中心に充足会議（月2回実施）の場で選定し、訪問の際はヒアリングシートを活用し、収集した情報を職業相談部門内で共有し、求職者に積極的に情報提供を行い適格紹介に努めました。そして、管内事業所の充足に役立ててもらえるよう、事業所訪問等で収集した情報を「有給休暇等の取得促進」や「育児・介護等との両立支援制度の導入」等の項目別に分けた事例を掲載したものに、ハローワーク布施で独自に行う充足サービスメニューも盛り込んだリーフレットを作成しました。

また、初回講習時に事業所サービス部門の職員が管内の求人情報を分かりやすく説明するとともに「ものづくり企業」等の求人に応募を促すような説明を行い、充足対策に取り組みました。

その他、他のハローワーク管内からの通勤が見込める八尾市内の一部地域の求人情報を近隣ハローワークに情報提供し、求職者へのプラス1紹介や求人情報提供に活用してもらうように協力要請を行ったり、テーマを決めた3社規模程度のミニ面接会（例：「食品工場のお仕事会社説明会・面接会」）を開催することで、応募者数や就職者数に一定の成果をあげることができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

八尾市地域職業相談室の実績向上及び活性化を図るため、事業所サービス部門の職員と八尾市地域職業相談室の職員がペアで事業所訪問を行い、情報収集と適格紹介・求人充足に努めました。また、八尾市地域職業相談室内で製造職の求人を対象としたミニ面接会の実施や、月1回の「履歴書の書き方セミナー」や「職業訓練の説明及び相談会」を実施。そして、以前は高齢・パート等で分類していた求人ファイルを、業種別に変更し、高齢者も見やすいようにA3サイズに拡大する等様々な取組を行いました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

雇用対策協定を締結している東大阪市や商工会議所と協力し、新卒及び既卒若年者等を対象とする企業説明会・就職面接会や東大阪モノづくり企業による合同就職面接会、各種セミナー等を企画し、地域の人と企業のニーズに合った協定事業を行います。また、八尾市とも連携・協力して、面接会・セミナー等を積極的に実施し、地域への発信力を強めていくように取り組めます。

(4) その他業務運営についての分析等

昨年度に引き続き、「東大阪ふれあい祭り」に参加し、ブースには約2,400人もの方が訪れ、ハローワークのPRを積極的に行いました。今後も地域コミュニティサイトへ最新情報の随時掲載、東大阪市や八尾市と連携したイベントの開催などを通して、潜在的求職者の掘り起し、ハローワークの利用促進・広報に積極的に取り組んでまいります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

当所のホームページ内にある管内ものづくり企業を紹介した「ものづくりの事業所情報コーナー★企業データベース★」の利用を勧奨し、インターネットを活用した事業所のPRを行い求人充足に努めています。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護受 給者等の 就職件数	公的職業訓練 修了3か月後 の就職件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による 就職支援を受け た重点支援対象 者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数	障害者の一 般企業等へ の就職件数
実績	7,287	7,629	3,834	46.0%	44.1%	527	428	94.8%	32,596	3,634	189	409
目標	7,930	8,381	3,087	48.9%	46.2%	494	314	92.7%	36,137	4,083	180	456
目標達成率	91%	91%	124%	94%	95%	106%	136%	102%	90%	89%	105%	89%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク堺 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

○事業所サービス部門担当者並びに職業相談部門担当者が、個別または同行して企業訪問を行い、収集した企業の画像情報等を庁舎入口左に「私たちの街の企業 いちおし情報」コーナーとして令和元年8月より設置。当該コーナーにおいて、求職中の方に対しハローワークの持つ求人企業の情報を魅力的に発信することができました。同時に求職中の方のみならず他の企業担当者からも掲載について多数の問い合わせをいただくなど関心を得ることができました。また、出先機関も含め令和元年度中に76回開催したミニ面接会の参加企業のアピールポイントについても、当該コーナーから情報発信しました。

○シニアコーナー（生涯現役支援窓口）をリニューアルし、高年齢者の就職数の増加に繋げることができました。来所者端末の利用を苦手とされるシニア世代の求職者のために、地域・職種別のシニア世代向け求人ファイルを拡充、庁舎入口右に「高年齢者向け求人情報」コーナーを設置し、シニアコーナーの利用促進を図りました。シニアコーナー利用者に個々の希望に応じた求人情報を積極的に提供し応募に繋がったことで、65歳以上の就職件数を目標194件に対し423件と大幅に増加させることができました。

○ハローワークシステムの刷新を受け、スマートフォンでの求職仮登録や求職者マイページの登録を推奨し、求職中の方がハローワークのサービスをスマートフォンや自宅のパソコン等で活用できる基礎作りを行うことに注力しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

○令和2年1月からのハローワークシステムの刷新に際して、来所者端末を総合案内から「すべての利用者の様子が見える」配席に変更し、フロアナビゲーターによる利用サービスが十分に行き渡るよう改善しました。

○令和元年6月より、職業紹介・相談窓口体制をリニューアルしました。雇用保険資格決定に係る求職申込窓口の受付箱を廃止し、ボイスコールに切り替えることにより個人情報漏洩防止対策が強化され、職業相談窓口の合理化（専門性による分化、近似性による統合等）を図ることで、求職中の方の就職意欲喚起と職業相談時間の確保ができました。

○就職支援セミナーを大幅に増やし、就職意欲喚起につながる支援の拡充を図りました。受講定員枠の拡大、新規セミナーの立ち上げ（所内、外部連携）により、平成30年度セミナー開催144回参加者数2,537名（うち雇用保険受給者2,215名）に対し、令和元年度は222回5,364名（うち雇用保険受給者5,053名）と倍増させることができました。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

○今後は、個々の求職者担当者制の取組を継続しつつ、堺所の就職支援セクション（就職氷河期世代支援窓口、若者就職支援コーナー、生涯現役支援窓口、人材確保対策コーナー、堺マザーズハローワーク）の多様性を最大限に活かした部門間連携を強化することで、「多様な人材の活躍促進」につながる効果的な事業展開を行いたいと考えています。具体的には、①多様なニーズに応える「能動的面接会」の開催、②事業所サービス部門・職業相談部門スタッフの連携による面接会参加事業所の情報収集と人材確保支援（求人票記載内容のブラッシュアップ、PRシートの作成、いちおし情報コーナーでの展示等）、③②で得た情報を事業所サービス部門・職業相談部門スタッフで共有することでさらなる支援への活用を進めます。

○ハローワークシステム刷新により新たに追加された機能（イベント情報機能、求職者・求人者マイページ）を活用した求職中の方への支援（手続きを省力化したスマート紹介、メッセージ機能による各種情報提供等）を開始します。

○就職件数全国一奪還プロジェクトにおける取組の一環として、堺市教育委員会が行う「企業による学びの応援プログラム」事業（地域貢献・教育活動）にプログラム（社会のしくみ「ハローワークってどんなところ？」、社会見学「ハローワークツアー」）を提供し、さらなるハローワークの周知に努めます。

(4) その他業務運営についての分析等

堺市との連携を密にし、就職応援フェア（イオンモール、区役所等）への出張相談、さかいJOBステーション内の堺ハローワークコーナーの運営、就職相談会におけるセミナー講師の派遣等、地域に根差した業務の運営を行っています。

これまでの事業を維持・継続し、さらに市内各区（堺区、中区、北区、東区、西区、南区、美原区）毎の特色（産業や生活形態等）を分析した上で、各区に特化した面接会やセミナー等の実施により連携の強化を図り、地域に貢献していきたいと考えています。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

大阪府内において大阪市に次ぐ規模（人口、面積）の堺市で、合同就職面接会や企業説明会等様々なイベントを実施しました。ハローワーク堺から最遠隔地である美原区でも就職面接会・就職支援セミナーの開催準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止を余儀なくされました。令和2年度は、その美原区を皮切りに堺区全区をターゲットとした「堺市全区出張セミナー」を開催します。

また、外部の広報イベントへも積極的に出展し、11月9日に大阪刑務所で開催された「関西矯正展」で1,500名、11月3日には堺マザーズハローワークが「ハーベストの丘」で770名の来場者を迎えました。「関西矯正展」では「シニアのお仕事相談窓口」を開設したところ、20名からの職業相談がありました。

令和2年度に入り、コロナ禍で様々なイベントが縮小される中、お仕事探し中の方からの需要が高いオンラインを活用した求職者サービスや、ハローワークインターネットサービスの求職者マイページを活用した就職のための情報提供等を積極的に行います。

加えて、堺市教育委員会が実施する「企業による学びの応援プログラム」事業にもエントリーしており、学校教育活動や地域活動に貢献したいと考えています。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の就 職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援による 正社員就職件数	マザーズハローワーク事 業における担当者制によ る就職支援を受けた重点 支援対象者の就職率	正社員 求人数	正社員就職 件数	人材不足分野の 就職件数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数
実績	7,953	7,779	3,709	37.9%	43.4%	863	635	94.6%	29,318	3,555	2,102	423
目標	8,635	8,221	3,154	43.0%	46.6%	752	711	92.7%	31,993	3,895	2,207	194
目標達成率	92%	94%	117%	88%	93%	114%	89%	102%	91%	91%	95%	218%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク岸和田 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、職業相談部門と事業所サービス部門で情報共有、部門間連携を図り、求人者と求職者のマッチングを重点的に進めました。具体的には以下のとおりです。

- ① 求職者の希望条件や資格、経験と適合する求人票を職員から求職者へ郵送により提案し、紹介に繋げる支援を実施。
- ② 求人情報の提案時に求職者の声を聴取し、事業所訪問等のヒアリング時に求人内容の要件緩和やアドバイスを実施。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ① 求人応募が不調で終わった求職者に対して重点的に希望条件等に適合している求人の選定・提案を実施し、マッチングの向上を図りました。
- ② ミニ面接会に求職者が気軽に参加できるよう、初めに事業所からの説明を実施し、応募希望者には引き続き面接を受けていただく形式を導入しました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

- ① 高齢者や子育て世代など世代別や業種・職種別のミニ面接会の開催を積極的に事業所へ働きかけます。
- ② 管内自治体や関係団体、隣接ハローワークとの共催による就職面接会等を開催し、新規求職者の掘り起こし・マッチング支援の強化を図ります。

（4）その他業務運営についての分析等

新規求職者の減少以上に紹介件数が落ち込んだこと、新型コロナウイルス感染症の影響で2月、3月の新規求人数が大幅に減少したことにより、就職件数、充足数の目標達成率が90%を下回る結果となりました。

しかし、当所の求職者の多くは岸和田市・貝塚市の地元での就職を希望されているため、充足数（求人受理地ベース）は前年度比マイナス8.9%と大阪府内では最も小さな落ち込みでした。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

- ・岸和田市との共催による就職氷河期世代を対象とした就職面接会を大阪局内で先駆けて令和元年10月24日に開催しました。
- ・「ものづくり」体験セミナーや「介護分野」の訓練学校説明会を精力的に企画・開催し、公的職業訓練及び求職者支援訓練の周知、案内を強化しました。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受給 者等の就職 件数	障害者の 就職件数	公的職業訓練 修了3か月後 の就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	3,117	2,711	1,363	44.6%	49.3%	194	212	162	9,248	1,531
目標	3,520	3,013	1,216	49.3%	51.4%	175	187	142	9,423	1,760
目標達成率	88%	89%	112%	90%	95%	110%	113%	114%	98%	86%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク池田 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に取り組みました。具体的には、初回認定日及び2回目以降の職業相談時にニーズに沿った求人票の提供を行う等の継続的な支援を行い、また担当者制による個別支援を実施し、応募書類の作成指導等きめ細やかな支援を行ってきました。結果、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標を達成しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者の待ち時間短縮に向けて、職業相談窓口の体制を見直し、効率的な窓口相談に取り組みました。また、よりわかりやすい求人情報の提供のため、事業所訪問時や窓口・電話等により得た詳細な情報を含む「チラシ風求人」を作成し、掲示・情報提供を行いました。そして、事業所サービス部門と職業相談部門において事業所情報の共有を図る等の連携強化をしたことにより、求人に対する紹介率について目標達成率が前年度比6.8ポイント上回りました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

積極的なミニ面接会の開催、マイページ等を活用したハローワークの支援サービスの情報発信を強化することで、求人の充足や就職促進に努め、よりハローワークを利用していただけるよう丁寧なマッチング支援に取り組んでまいります。

（4）その他業務運営についての分析等

今年度も引き続き雇用保険受給者に対する就職促進に重点的に取り組みます。特に継続的な求人提案をベースに、継続的な相談・個別支援等を積極的に実施していきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

人材不足分野における人材の確保に向け、福祉分野だけでなく、タクシー乗務員体験ツアー、建設業体験セミナー、シルバーウイークにおける高齢者向けセミナー等を新たに開催し、人材不足分野の就職件数について目標を達成しました。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対 する紹介率	障害者の 就職件数	公的職業訓 練修了3か 月後の就職 件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制 による就職支援 を受けた重点支 援対象者の 就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数	生涯現役支援 窓口での65歳 以上の就職 件数	雇用保険受給 者の紹介就職 件数
実績	4,435	3,607	2,486	42.5%	41.8%	379	333	93.2%	15,378	1,858	169	1,499
目標	5,079	3,980	2,066	45.5%	45.0%	375	240	92.7%	16,424	2,047	131	1,670
目標達成率	87%	90%	120%	93%	92%	101%	138%	100.6%	93%	90%	129%	89%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク泉大津 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

- ① 職業相談窓口において、求職者が希望する求人を1件でも多く提供し、紹介就職に結びました。
- ② 事業所の魅力発信のため、求人展示ボードには、職員が直接求人事業所を訪問して入手した情報をまとめた事業所PRシート（「職員コメント」「現場の写真等を掲載」）と求人事業所のHPが確認できるQRコードを求人票の周りに展示しました。更にシニア層対象求人には、シニア層が一番気にしている「立ち仕事か」「力仕事か」「一人でする作業かチームでの作業か」の3項目を4段階レベルに分けた表示カードを展示するなど工夫して、求職者にわかり易い求人情報を提供しました。
- ③ 所内には個別ブースがある利点を活かし、「ミニ就職面接会」を積極的に開催しました。（87回開催、就職者数24人）

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

就職する上で、職業訓練による技能習得も重要であることを求職者に十分周知できていないことがわかり、当所入口付近の「訓練周知用展示ボード」及び「リーフレット立て」を見直しました。「展示ボード」には訓練募集一覧表に加えて、マスコットキャラクターの「とれゴン」を活用し、興味を引くメッセージを掲載しました。「リーフレット立て」には、訓練に関心・興味を持っていただくために、訓練の種類をわかり易く表示し、気軽に訓練コーナーに来ていただけるよう工夫しました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、ハローワークに来られる利用者に対して、相談窓口へのスムーズな誘導や待ち時間の短縮化、更に雇用保険受給者に対して窓口での手続き時間の短縮化を図るなど、適正かつ効率的な業務運営を模索し実践していきます。

（4）その他業務運営についての分析等

地域に密着したハローワークづくりを目指すためには、管内地方自治体及び経済団体と連携を図ることが大変重要であると考えています。これからも連携してセミナーや就職面接会を開催するなど、求人・求職者個々のニーズに応じた必要な支援を必要な方に届けていきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

当所では、平成30年6月からシニアコーナー（生涯現役支援窓口）を創設し、シニアの方々の希望に応じて個別支援をはじめ、3つのセミナー（基礎編「シニアセミナー」、実践編「応募書類セミナー」「面接セミナー」）、就職面接会を開催し、更に令和元年度は求人展示ボードに掲載するシニア層対象求人をより分かり易く工夫して情報を提供するなど様々な支援を行ってきました。このような取り組みに対してシニア世代の方々も就職に向けて熱心に活動していただいた結果、55歳以上の就職件数837件、そして生涯現役支援窓口での65歳以上に就職件数は148件で、目標達成率は159%となりました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の 就職件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の 就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数	生涯現役支援 窓口での65歳 以上の就職 件数
実績	3,101	2,373	1,512	41.8%	45.1%	248	96.9%	7,929	1,499	148
目標	3,336	2,579	1,276	43.7%	47.3%	274	92.7%	8,950	1,573	93
目標達成率	92%	92%	118%	95%	95%	90%	104%	88%	95%	159%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク藤井寺 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

求人・求職サポート部門において、求職者担当者制、求人担当者制を実施し、求職者担当者制については、資格決定時、認定日相談等の際に当所作成の条件の良い求人を集めた求人情報誌を提供し、すぐに充足する可能性があることを伝えるなど、積極的な求人票提案に努めました。また、10月からは、求職者の声を集めるためのリコメンドシートを【窓口】【初回認定用】【面接会】【リクエスト】と場面に分けて独自に作成し、それぞれの機会に応募前に事業所に確認したいこと等、求職者の声を聞きだし、求人者へのフィードバックに活用することで魅力ある求人票となるよう取り組みました。

求人担当者制については、昨年度と同様、求人担当者と職業紹介担当者による5グループの小グループ制で事業所訪問を実施し、事業所PRシートの作成、当所のミニ面接会であるジョブ街ingへの参加勧奨をすることで充足支援へつなげる取組を実施しました。令和元年度のジョブ街ing（ミニ面接会）は27回開催し、33社参加、就職件数16件となり、参加事業所から高評価を得ました。

また、当所管内4自治体、商工会等と連携し、ジョブ・マッチングフェアin柏原、仕事と子育て両立支援セミナー、1日出張ハローワーク（羽曳野市・松原市）、出張マザーズコーナー（羽曳野市・柏原市）を実施し、参加事業所からはたくさんの方と面談できたので、今後も参加したい、求職者からは一度にたくさんの方と面接することができた等、高評価をいただきました。

一方で、応募が少なかった、応募したい事業所がないなど、課題も見受けられましたが、その情報を速やかに自治体、商工会等と共有することにより、今後につながる良好な関係の構築を図ることができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人・求職サポート部門において、求人担当者制の取組として、事業所訪問の資料「応募者アップガイド」「事業所PRシート登録のご案内」を独自に作成して、求職者アンケートの集計結果を掲載し、魅力ある求人票作りのポイントをアドバイスしたり、作成した事業所PRシートを所内掲示して”目に見えるサービス”に努めました。

専門援助部門の生涯現役支援窓口においては、高齢者対象求人票を拡大して所内に掲示したり、60歳以上応募可能求人情報誌を増刷して配架場所も増やしたことで、パソコンでの求人検索が苦手な高齢者の窓口への誘導につなげました。また、60歳以上対象セミナーも月1回実施し、管内情勢等の情報提供を行い就職意欲喚起に努めました。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

今後も求職者担当者制、求人担当者制を継続し、求職者ニーズの聞き取り、事業所へのフィードバック、事業所訪問からPRシート作成やジョブ街ing（ミニ面接会）へ繋げる取組を行います。更にリコメンドシートをより多く集め、求職者ニーズを活用した魅力ある求人票づくりに努め、求職者には早期再就職の支援、求人者には充足支援と目に見える形での支援を継続してまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

管内自治体と連携した、周知、広報、出張ハローワーク等を行うことで、ハローワークの利用促進、新規求職者の確保となる地道な取組を実施することが必要と考えます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

雇用保険受給者に対して、資格決定時のアンケートで本人がどれだけ就職を急がれているかを的確に把握し、失業認定窓口と連携した誘導を行い、当所作成の求人情報誌の提供やミニ面接会への参加勧奨を行いました。また、独自のリコメンドシートを活用して求職者の要望を聞き取り、求人者にフィードバックし、求人内容を変更して掲示した結果、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成率が116%と、目標を大きく上回ることができました。

これからも求人者、求職者の要望に応じた支援サービスを行い、窓口での相談、紹介につながる働きかけを行います。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	公的職業訓練 修了3か月後 の就職件数	生涯現役支援 窓口での65歳 以上の就職 件数	マザーズハロー ワーク等におけ る担当者による 就職支援を受け た重点支援対 象者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	3,063	2,331	1,575	26.7%	43.4%	196	112	95.7%	15,118	1,436
目標	3,296	2,522	1,356	30.4%	46.9%	165	93	92.7%	15,300	1,536
目標達成率	92%	92%	116%	87%	92%	118%	120%	103%	98%	93%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク枚方 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、新規求職者の増加、就職件数の向上を最重点として、主に以下の事項に取り組みました。

- ・新規求職者の増加については、ハローワークの支援内容等について自治体のホームページやアプリを活用して情報発信し、ハローワーク利用促進を図りました。
- ・就職件数向上については、マザーズコーナー、人材確保対策コーナー、職業相談コーナーなど各窓口の紹介件数と就職件数の目標を踏まえ、スタッフ毎に目標値を定めて進捗状況を管理することにより職員個々の意識を高めました。
- ・マッチングの向上については、求人受理担当者が当日受理した求人を職業相談担当者に当日のうちに迅速に情報を共有しました。また、求人受理や企業訪問の際に聴取した情報については、「求人票+α情報」としてシステムの求人管理情報の補足として入力しスタッフ全員で情報を共有しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所では、窓口の待ち時間の解消や増加する高齢者への対応として、主に以下の事項に取り組みました。

- ・利用者の待ち時間が長時間になる傾向にあったため、待ち時間解消策としてスタッフの機動的な対応が可能となるように窓口体制を見直しました。
- ・パソコン操作が不慣れなシニア世代の求職者に対しては、紙ベースのA3に拡大した求人票の設置、シニア層向けの各種セミナーやチラシを配架するなど、「シニア向け求人閲覧コーナー」を拡充しました。
- ・ハローワークシステムの刷新に伴い、紙ベースの求人情報誌のニーズが高まったことから、職種別の求人情報誌を新たに発行して求職者の方にわかりやすいものに見直しました。また、待合フロアに設置しているモニターの内容もハローワークの支援内容がわかりやすいように見直しました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

- ・令和元年度は利用者が減少傾向にあったことから、自治体のホームページやアプリを活用した周知広報を実施して、新規求職者の増加につなげました。今年度も管内各自治体のホームページやアプリ等も活用して、様々な方に対してハローワークのイベントや支援内容を周知します。また、管内の自治体と連携し、より地域住民の方や自治体のニーズに合った面接会等のイベントを開催します。
- ・令和2年度から新しく設置した「35歳からのキャリアアップコーナー」において、就職氷河期世代を対象としたセミナーや面接会を開催します。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・令和元年度後半から求人が減少傾向にあるため、ダイレクトメールやファックス等を活用して企業に対して求人募集の提出のお願い等を送付し、求職者のニーズに合った求人の開拓・確保に努めます。
- ・令和元年度は、管内企業だけでなく近隣地域の大規模な物流施設の建設に伴う就職支援にも積極的に取り組みました。今後においても近隣地域で大規模施設の建設や地域の開発計画が見込まれるため、自治体や関係機関と連携し様々なイベント等の開催、就職支援に取り組みます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

- ・当所においては、令和元年度まで管内の3自治体（枚方市、寝屋川市、交野市）と連携し、三市合同の大きなイベントの開催、アプリ等を活用した周知広報等により、地域に密着した就職支援に取り組んできました。令和2年度は、各自治体のニーズに合わせて自治体と個々に連携し就職支援に取り組んでまいります。
- ・令和元年度末から求人が減少傾向にあり求職者が増加傾向にあるため、近隣のハローワークと情報共有し、各所の様々なイベントや新たな支援内容等を求職者へ情報発信することにより、より一層の就職支援に取り組みます。また、利用者が安全に安心してハローワークを利用できるように、新しい生活様式に対応した各種イベントを開催します。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に 対する紹介率	生活保護受 給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	公的職業訓練 修了3ヶ月後 の就職件数	マザーズハローワーク事 業における担当者制によ る就職支援を受けた重点 支援対象者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数	生涯現役支援 窓口での65 歳以上の就職 件数
実績	6,505	4,252	2,852	41.3%	44.3%	348	592	408	93.9%	15,790	2,781	224
目標	7,127	4,463	2,530	46.4%	48.0%	323	588	339	92.7%	17,206	3,190	180
目標達成率	91%	95%	112%	89%	92%	107%	100%	120%	101%	91%	87%	124%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク泉佐野 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、求職者から丁寧にご希望をヒアリングするよう心掛けています。就職意欲や能力などを総合的に確認し、適格なマッチングに努めることで、紹介成功率（常用）は28.3%と、大阪府内のハローワークで3年連続トップとなりました。また、令和元年度は就職率（常用）も31.1%であり、高水準の成績を収めています。

また、12月より「マザーズサポートコーナー」を新設し、仕事と子育ての両立支援機能を強化しました。泉佐野市の「赤ちゃんの駅」にも指定され、小さなお子様連れでも一層利用しやすい施設となりました。

管内自治体との連携のもと、ひとり親家庭の支援にも尽力しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所では「プログレスプロジェクト」として、毎年、全スタッフからサービスや業務の改善の提案を募り、利用者サービスの更なる向上に心掛けているところです。

令和元年度は全73件の提案があり、主な内容として ①仕事と子育ての両立支援体制の充実 ②受付方法・所内表示の見直し ③ハローワーク求人情報誌の見直しなどを実施しました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

今後においても引き続きプログレスプロジェクトを継続し、利用者ニーズにお応えできるよう、サービス・業務改善に取り組み、更なる利用者サービスに努めてまいります。

（4）その他業務運営についての分析等

令和元年度は「あなたと共に未来を創るハローワーク」をスローガンとし、地元企業の要望に応えるべく、合同求人説明会・面接会を9回開催しました。中でも、雇用の重要拠点の一つである関西国際空港の関連企業による「関空就職フェア」においては、障害者・外国人留学生等を積極的に採用する企業を対象とすることで、大阪労働局職業対策課、大阪外国人雇用サービスセンターと連携のもと開催し、多様な人材を確保するための機会として、参加企業より好評を得ております。

また、管内自治体と連携したセミナーの開催、合同面接会におけるハローワーク相談ブースの設置、児童扶養手当現況届の提出時期の役所内への臨時相談窓口の開設など、管内自治体との連携強化を図りました。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

○生活保護受給者への就職支援

当所では、就職支援ナビゲーターによる定期的な自治体出張相談による支援や、予約による個別支援を行った結果、生活保護受給者の就職件数は年間目標の約1.5倍となりました。

○「職業訓練ガイダンス in 泉佐野」の開催

令和元年11月6日に近隣のハローワーク（堺所・泉大津所・岸和田所・和歌山所）と連携し、「職業訓練ガイダンス in 泉佐野」を開催し、個別ブースにて職業訓練施設10校による説明、UIJターン相談会、職業訓練セミナー等を実施した結果、参加者から高い評価を得ました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護 受給者等の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	生涯現役 支援窓口での 65歳以上の 就職件数	障害者のチーム 支援による 就職率
実績	2,828	2,533	1,295	45.8%	46.2%	78	8,019	1,328	92	58.3%
目標	3,427	2,991	1,217	50.5%	50.4%	54	8,101	1,557	92	43.1%
目標達成率	82%	84%	106%	90%	91%	144%	98%	85%	100%	135%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク茨木 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、主要指標である「就職件数」、「充足数」、「雇用保険受給者の早期再就職件数」の目標達成を最重要と考え、求職者のニーズをとらえた魅力ある求人を確保し、求職者ご本人の希望条件等に合う求人を能動的に提供する取組を行ってきました。具体的には求人担当者と求職担当（その求人のマッチング担当）が同行して事業所訪問を行ったり、マッチング担当者から職業紹介窓口スタッフへ求人詳細情報のプレゼンテーションを行う等の取組を実施しました。様々なニーズをとらえた面接会実施にも取り組み、現職の方のお話が聞けるセミナーと同時開催するなど新しい構成も取り入れました。雇用保険受給者に対しては認定後の全員相談を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

職業相談を通じて得た求職者の生の声をもとに求職者ニーズを集約した上で、当該ニーズに沿った雇用管理改善の具体的な取組が聴取できるよう、求人者への「ヒアリングシート」の見直しを行いました。聴取できた内容をできる限り求人票に反映させ、また求職者ニーズを踏まえた要件緩和や新規求人獲得にもつなげてきました。求職者に向けたサービスにおいては、就職支援セミナーの新たなメニューとして、職業理解セミナー【3次元CAD】（ポリテクセンター関西とコラボ）、適性検査セミナー（三島地域若者サポートステーションとコラボ）を開催しました。このように外部機関と連携した取組を実施することで、相互の誘導数も増加し、連携を強化した支援につなげることができました。

職業訓練制度については周知を強化するため、受講勧奨リーフレットを80か所の外部機関・施設へ配架を行いました。また、日々の窓口サービスにおいては、空席を作らず常に利用者にサービスが提供できる体制をつくりました。

障害者支援においては、求職者ニーズもある就労継続支援A型事業所の説明会の実施を図りましたが、新型コロナウイルスの影響で中止になったので今年度は計画的に実施していきます。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

ハローワークシステム刷新により「求人者マイページ」「求職者マイページ」のサービスの提供が始まり、今後はこれらの利点を最大限活用したマッチングへ向けた取組を行っていきます。具体的には、求人数の確保だけでなく、「事業所PR情報」の充実を図ることにより、新型コロナウイルス感染の終息が見通せず来所の勧奨が困難な状況下でもより詳細な求人情報を提供できるよう取り組みます。また求職者マイページを利用した的確でスピーディな求人情報提供により、さらにマッチング機能を高めていきたいと考えています。

雇用情勢を見極めつつ、特色ある就職面接会や人材確保対策業種等の説明会・セミナーを実施していきます。また三島地域若者サポートステーションとの連携強化を図り、ハローワークでの出張相談（月1回・職業興味検査や個別相談等を実施）を開始します。障害者対象面接会への参加企業については、従来から参加しているところが多く、より幅広いニーズに応えられるよう新規開拓を行っていきます。

（４）その他業務運営についての分析等

事業所サービスの側面においては、システム刷新準備・刷新後の業務量増大や煩雑化、また新型コロナウイルス感染拡大などの影響により、求人担当者制の支援開始件数・事業所訪問実施件数などが目標を大きく下回る結果となりました。今後は、感染防止対策をとりつつ積極的に事業所訪問していきます。求職者支援サービスにおいても、システム刷新により、求人情報提供パソコンによる検索方法がハローワークインターネットサービス・マウス・キーボードを利用する手法となるなど大きく変化しました。これによりシニア層求職者を中心に求人情報を必要とする人々に十分に行き渡らない状況が発生しました。これに対し、フロアナビを設置し、操作がわからない求職者の方に対しては丁寧に説明を行ってきました。さらに自身では探すことが困難な方々のため、軽作業職種を中心に毎日求人情報誌（フルタイム・パート）を作成し閲覧できるように配架しています。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

人材不足分野のマッチング支援策として医療・福祉関係事業所をターゲットにしたイベントを実施し成果を上げました。

- ・ 10 / 10 就職相談・面接会（医療法人の面接会に現職の方のお話が聞けるセミナーを同時開催）【参加者数81名、就職件数7件】
- ・ 11 / 13 施設見学会&就職相談会・面接会【参加者数26名、就職件数9件】

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサ ポーターの支 援による正社 員就職件数	公的職業訓練 修了3ヶ月後 の就職件数	マザーズハローワーク 事業における担当者制 による就職支援を受け た重点支援対象者の就 職率	正社員 求人数	正社員就 職件数
実績	5,011	4,449	2,850	32.5%	40.3%	329	531	521	365	99.1%	24,198	2,242
目標	5,940	4,867	2,706	36.2%	42.7%	257	526	475	270	92.7%	25,212	2,813
目標達成率	84%	91%	105%	89%	94%	128%	100%	109%	135%	106%	95%	79%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク河内長野 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所の3分の1を占める55歳以上の高齢者層の支援として、シニア向けの早期再就職に向けた効率的な再就職活動方法を説明した「シニアのための就活ガイドセミナー」を月1回開催すると共に、1階に設置した「高齢者コーナー」での高齢者向け求人の展示及びファイリングした求人の情報提供を行い高齢者の職業紹介に取り組んだ結果、令和元年度962名の高齢者の方（生涯現役支援窓口での65歳以上の方は103名）が再就職されました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

① 再来所勧奨による職業相談

求職者の紹介件数、就職件数ともに減少が続いているため、新規求職の登録と同時に希望される求人の紹介まで至った方をピックアップし、その採否の状況確認と現在の求職活動の状況を電話にて連絡を行うと共に予約制による再来所の勧奨を行い、求職者担当者制につなげ個別支援を行う「再来促進キャンペーン」の取組を行うことにより業務を改善しました。

② 紙ベースの求人票のファイリング

ハローワークシステムの刷新による求人検索方法の大幅な変更に伴い、システム操作が苦手な求職者のハローワーク離れを防ぐために求職者から比較的ニーズの高い、事務職（フルタイム、パート）、営業職（フルタイム）、軽作業（パート）、学歴・経験不問（パート）の合計5種類の求人ファイルを作成し、待合室でお手軽に求人票の閲覧ができるように改善しました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

① 昨年度に引き続き「再来促進キャンペーン」を実施し更なる充実を図ります。

② 管内各市町村の子育て支援課と連携して子育て世代の求職活動のセミナー等を開催することにより、マザーズコーナーのPRと子育て世代の職業紹介に努めます。

③ 求人の充足率向上のため、求人者に対して求人内容の詳細条件確認や求人条件等の緩和等要請を行い、確認及び緩和に応じていただいた求人票を所内にA3サイズに拡大し求職者にわかりやすいように展示するとともに、情報提供や応募勧奨を図っていきます

(4) その他業務運営についての分析等

令和元年度後半は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、就職件数が目標達成率89%にとどまりました。引き続き、当所の3分の1を占める高齢者層の支援及びマザーズコーナーの支援メニューのPRを行い、子育て世代の求職者の掘り起こし及び就職件数の増加を図っていきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

雇用保険受給中の方への就職支援として、認定時に支援が必要と思われる方について、認定窓口職員の判断により積極的に職業相談窓口へ誘導することにより、雇用保険受給者早期再就職件数の目標達成率は106%となりました。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	生涯現役 支援窓口での 65歳以上の 就職件数	ハローワークの 職業紹介により 正社員に結びつ いたフリーター 等の件数
実績	2,683	2,038	1,173	43.7%	46.0%	159	6,515	1,139	103	450
目標	3,000	2,256	1,103	48.0%	49.6%	201	7,033	1,351	99	492
目標達成率	89%	90%	106%	91%	92%	79%	92%	84%	104%	91%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク門真 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

新規求職者が減少傾向にある中、当所では、管轄区域が広く、新規求職者開拓のために周知・広報のさらなる強化が必要であると考え、地方自治体と連携した事業（就職面接会・就職支援セミナー・出張ハローワーク）を重点的に行いました。管内自治体と共催事業を行い、地域での取組とし、求職者、求人者の地元での活動の場を広げ、各自治体の積極的な協力のもと市報やポスター掲示、また地域のFMラジオでの広報などで多くの方にご利用していただけるように取組を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

雇用保険受給者の早期再就職促進のため、雇用保険説明会時に本人のニーズに合わせた求人票の提供や認定後に職業相談窓口へ誘導し、求職者のニーズにあった支援メニュー案内を行うなど、早期再就職支援に努めました。また、一般求職者で一定期間経過後、ハローワークの利用の無い方に対して、電話にて現在の就職活動の状況を確認し、必要に応じて来所の勧奨や就職支援メニューの案内を行いました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

当所の管轄地域は東西に広い、門真市、守口市、四條畷市、大東市となっており、公共交通機関が京阪沿線とJR学研都市線を利用する方がおられ、京阪沿線に所在する当所では管内4市の利用者にサービスを均等に提供出来るように、管内地方自治体と連携をさらに深めていきます。具体的には、沿線上来所されにくい大東市・四條畷市の方々にハローワークを利用していただくため、両市での出張ハローワーク（セミナーやミニ面接会等）を引き続き行い、守口・門真の両市においても、面接会を共催で開催していきます。

また、子育て世代への就職支援強化のため、マザーズコーナーを設置し、各種情報提供や就職支援の充実を図ります。

（4）その他業務運営についての分析等

事業所サービス部門と職業相談部門の連携強化をより一層行い、事業所訪問等で得た情報（職場環境や職務内容の詳細等）を求職者へ的確に提供することで、マッチング強化を図りました。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

高年齢求職者の占める割合が高い当所の状況に応じ、高齢者の方へのセミナー（月1回以上）の開催、ミニ面接会の実施、求人情報提供等を行い、マッチングの充実を図りました。その取組に重点をおくことで、生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数の目標達成率が207%という結果に繋がりました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受給 者等の就職 件数	学卒ジョブサ ポーターの支 援による正社 員就職件数	公的職業訓練 修了3か月後 の就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	生涯現役支援 窓口での65 歳以上の就職 件数	障害者の一般 企業等への 就職件数
実績	4,273	3,489	2,270	36.7%	46.6%	260	351	213	19,117	2,269	266	223
目標	4,910	3,871	1,972	41.7%	49.7%	286	384	185	19,478	2,473	128	315
目標達成率	87%	90%	115%	88%	93%	90%	91%	115%	98%	91%	207%	70%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率